



ロータリーの未来は THE FUTURE OF ROTARY
あなたの手の中に IS IN YOUR HANDS

.....国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27 事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
会長：渡辺忠雄 幹事：西本健二 会報委員長：速見憲

2009年12月15日 第933回例会(第932号)

○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「我等の生業」

卓話 「私の職業」

～会員交流のためのスピーチ～

今村、加藤、柏木、木元、金馬 各会員

○○ 次回例会のお知らせ(12月22日) ○○

卓話 「私の職業」

～会員交流のためのスピーチ～

北村、北山、小谷、米谷、水谷 各会員

前回〔12月8日〕例会記録

会長の時間

渡辺会長

皆様、こんにちは。

いよいよ今週の12日(土)に関西大学ローターアクトクラブの認証状伝達式を開催します。

ローターアクトクラブ(RAC)とは、18から30歳の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ(RC)が提唱する世界的な団体で、地域社会を基盤とするRACと大学を基盤とするRACの2種類があります。

日本最初のRACは、1968年に創立した埼玉県の国際商科大学RAC(現川越RAC)で、当時の第357地区(埼玉県・千葉県)現在は第2570地区(埼玉県)の川越RCの提唱で6月1日に発足。創立会員12人でスタートしました。

また、当地区では、関西大学RACは最初の大学RACになります。提唱クラブであります吹田江坂RC全会員のご協力ご出席をお願い申し上げます。

出席報告

榎谷委員長

【12月8日】

在籍会員 44名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 36名(内出席規定適用免除者 6名)

ホームクラブ出席率 87.80%

11月17日のMUを含む出席率 97.30%

幹事報告

西本幹事

本日例会終了後、20周年実行委員会を行います。新井会員が12月2日より入院されており、昨日、お見舞に行きました。経過良好でお元気そうでした。うまくいけば12月11日退院とのことです。

GSEテキサスチーム受入れの打ち合せ会が12月11日(金)18:00~ホテル阪急エキスポパークで行われます。担当は金馬奉仕活動委員長です。当日は渡辺会長、金馬委員長、私西本が出席致します。すでにご案内の通り第2組IMが1月30日(土)、地区大会が2月26日(金)・27日(土)開催されます。名簿回覧しますので、当日のご都合をお知らせ下さい。

ニコニコ箱

原会員 早退させて頂きます。

西上会員 結婚記念日、妻の誕生日のお祝い有難うございました。

大森会員 年次総会ご苦労様です。

本日分 9,000円

累計 639,000円

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2009～2010年度「年次総会」

渡辺忠雄会長

クラブ細則第3条第1節により、只今より年次総会を開催しますが、細則第1条第2節(1)項により、私が議長を務めます。細則第3条第5節の定足数は会員総数の3分の1ですが、本日の出席者は36名です。定足数を満たしておりますので本会議は成立します。

細則第1条第4節(4)項により、本日選挙いただきますのは、役員と理事ですが、各候補者が定員を上回らない場合は投票を行わず、出席会員にその賛否を問うことになっております。

また、理事候補者は6名で、後ほど投票用紙を配付しますので、3名の方をお選び下さい。

それでは、役員選出から行いますので、細則第1条第4節(4)所定の役員候補者を読み上げます。

次年度会長ノミニー：庄瀬 寛 会員

次年度副会長：寺井 正昭 会員

次年度幹事：延秀恵 会員

次年度会計：東秀夫 会員

次年度会場監督：橋本 豊 会員

以上役員候補者は定員を上回っておりませんので、会員の皆さまのご賛同で決定してよいことになっておりますがご賛同いただけますでしょうか。

(拍手)

それでは、全員ご賛成ということで決定しました。

なお、細則第1条第4節(5)項により、水谷善博会長エレクトは2010年7月1日から会長に就任していただきます。

引き続きまして理事の選挙を行います。

理事の候補者は、只今から配付します投票用紙に記載しております6名です。6名のうちから、3名をお選び下さい。3名以外の記載は無効ですのでご注意下さい。

(全員投票 開票 集計発表)

6名の候補者を選挙した結果、つぎの方々が理事に決定しましたので発表します。

次年度理事：堀田 総 会員

：新井 性哲 会員

：大井 清 会員

それでは、役員および理事の選挙が無事終了しましたので年次総会はこれで閉会します。

なお、細則第1条第4節(6)項により、会長エレクトは、次年度の役員および理事と共に、1週間以内に次年度理事会を開催していただき、会計監事を選任していただくよう規定されております。その時に理事の3常任委員会の担当も決めていただきますように、よろしくお願ひします。

『友』インターネット速報

2009年12月8日 No.408

財務状況に関する最新報告（抜粋）

国際ロータリー（R I）とロータリー財団の財務状況は、改善傾向にあります。今会計年度当初から9月までの市場成果により、R Iで1,100万ドル、財団では5,800万ドルの投資収益がもたらされました。今後も財務状況の改善が予測されますが、市場は現在も不安定な状態にあります。

R Iの予備金は、義務づけられた最低レベルを上回る額を維持。財団の予備金は2009年6月末以来、約3,400万ドル増えましたが、目標を大幅に（800万ドル）下回っています。なお、今会計年度のプログラムの運営費や経費のために債券を清算する必要は生じていません。

財団の年次プログラム基金への寄付額は今年度第一四半期に落ち込みましたが、これはロータリーの2億ドルのチャレンジに一部起因するものと思われます。ロータリーの2億ドルのチャレンジでは、既に目標額の半分以上が集まっています。管理委員会は、複数の大規模な募金活動により、寄付者に疲弊感をもたらす可能性があると認識していますが、「ボリオのない世界」という約束を守ると同時に、教育的・人道的活動ができる限り続け、拡大させていかなければなりません。ありがたいことに、多くのロータリアンは両活動におけるニーズの大きさを理解し、財団に惜しみない寄付を寄せてくださっています。

ロータリーのシニアリーダーと事務局職員は、引き続きロータリアンへの支援業務を減らすことなく経費を抑える方法を検討していきます。財務に関する詳細はR Iホームページ <http://www.rotary.org/ja/aboutus/financials/pages/ridefault.aspx> をご覧ください。

エド・フタ（布田）R I事務総長

